

# 言葉の背景にある情報を教えるV

～教科書を発展させた学習例 “Holocaust” 学習への発展～

渡部 陸 浩

## 1. はじめに

英語の授業を展開していく場合、「教科書をどのように扱うのか」について、しばしば議論の対象となる。「教科書を教える」のではなく「教科書で（英語を）教える」という表現を見かけるが、果たして具体的には何をどのように教えるのだろうか、英語教師ならば疑問に思ったり、試行錯誤を重ねた経験があるのではないだろうか。

本研究紀要は、このような素朴な疑問から導き出したある一つの提案である。教科書をもとに、どのような活動をすることが考えられるのか。また、関連する情報をどのように提供し、より深まりのある学習として成立させていくのか、平成12年2月の授業実践をもとにして記していくこととする。

## 2. *Sunshine English Course 2* をもとにした実践例

### 2.1 Program 12 Maria Talks about Her Life

#### 2.1.1 あらすじ

“Please train my children hard,” said Captain von Trapp to Maria.

Maria did not listen to him. She taught songs to the children.

*Sunshine English Course 2*

(開隆堂, 2000, p72, Program 12)

時代は1930年の終わり頃、ヒットラーが率いるNazisは、ユダヤ人を迫害し、ヨーロッパ各地に攻め込んでいく。オーストリアのザルツブルグにある修道院のシスターであったマリアは、トラップ大佐の家に家庭教師としてやってくる。厳格に子供達をしつけようとするトラップ大佐であったが、マリアは歌や人形劇を子供達に教え、次第にトラップ大佐の心を開いてゆく。映画“Sound of Music”では子供達と共に、楽しげにドレミの歌を歌い、自分なりの教育方針で子供達をしっかりと導いていくマリアの姿が生き生きと写し出される。

One day my husband got a telegram from the Nazis. He said to us, “I must meet them tomorrow. I can’t say ‘NO’ to them. We must get out of Austria tonight.” (ibid p73.)

Nazis はなぜトラップ大佐に電報を送ったのか。また何故トラップ大佐はNazisに対してNOと言えないのか。教科書のみの情報では誤解を生ずる。トラップ大佐はAustriaをこよなく愛する、愛国心豊かな人物で、自宅で開く舞踏会でもAustriaの国旗をNazisの勢力が広まる中、堂々と掲げる人物である。トラップ一家はNazisからの申し出を三度断っている (*Sunshine English Course 2 Teacher’s Manual*, p.166)。一度目はヒットラーの誕生日に出演し祝って欲しいという申し出、二度目は長さ126m、乗員72名である最新の潜水艦の船長になってほしいという申し出、三度目は長男に医学校卒業と同時にウィーンでの病院勤務を提供するという申し出である。

People in Italy were unfriendly to us. They said, “The Trapp family are not Jewish. They’re spies for Hitler!” (ibid p74.)

教科書では unfriendly という表現でユダヤ人に対する人々の態度が描写されているが、この部分に社会的な情勢とユダヤ人が受けてきた苦しみを解説する必要がある。

They told us about their hardships in Austria during the war. And we told them about our hardships. They said, “We’ve lost our children, and you’ve lost your homeland.”

In war there are no winners. All are losers.

(ibid p75.)

Austriaで苦しみに耐え生き残ったtheir hardshipがいかなるものだったのかをしっかりと説明したい。家族を失い祖国を失わなければならない過酷で非人道的な出来事がどのような行われたのか。そしてそれは何故、起こったのか。現在との政治的、社会的なつなが

りはどのような事象となって現れているのか。英語教師の教材研究によって、しっかりと深い学習を展開することができるのではないだろうか。

### 2.1.2 Holocaust学習への発展

この教材をよりよく理解するためには時代背景をしっかりと掴まねばならない。その為には、教科書で扱っている語に加え、取り扱っていない語句も含めて資料提供をさらにする必要がある。もちろん関連するすべての語句を紹介するわけにはいかないが、時代背景を理解するために代表的な語句をここで取り上げることとする。

#### 2.1.2.1 Holocaustホロコーストとは何か。

広島にホロコースト記念館（広島県福山市御幸町中津原866）がある。この記念館は1995年に開館した。この年は戦後50年でもあり、またアンネ・フランク没後50年の年に当たる。この記念館のWeb Sitesからの情報によれば、ホロコーストとは以下のような内容である。

ギリシャ語にその語源を持ち、「全焼のいけにえ」を意味していた。その後、時代と共に、大規模な破壊、殺人をあらわすことばとして用いられるようになる。第2次世界大戦後、ナチス・ドイツによるユダヤ人や他民族への破壊、大量殺人を意味することばとして用いられ、今日では、主にユダヤ人（600万人）への大量虐殺を表現することばとして、一般化した。

（ホロコースト百科事典による）

ホロコースト記念館

<http://www.urban.ne.jp/home/hecjpn/>

全焼の[焼き尽くす]いけにえ、全燔祭（はんさい）  
【獣を丸焼きにして神前に供える】：火による皆殺し、大虐殺、[the H-](ナチスによる)ユダヤ人大虐殺、ホロコースト；大破壊、破局。  
[OF<GK(holo-, kaustos burnt) ]

『リーダーズ英和』第二版, s. v. holocaust

では何故ユダヤ人がこのような大量殺戮の対象となされたのか（実際にはユダヤ人以外の人々も犠牲となっている）。FAQs About the Holocaustには次のような解説がある。

Why did the Germans murder the Jews?

Many answers to this question have been offered-

theological, historical, philosophical, psychological, and Marxist-but none alone will ever be satisfactory. The historical answer might read something like this:

In the 1930s, large segments of the German populace consented to live in a society based on the tenets of hatred, ethnic utopianism, and violence. They went to war to redress every wrong and perceived wrong perpetrated against them over the previous 200 years, and to create their version of a better world. A central belief in the system by which they lived was that the Jews (or "The Jew") represented everything diametrically opposed to them and, for this reason, had to be removed. This belief was closely connected to a racial worldview, shared by many, which defined the Germans as members of a master race, the Nordic Aryans, and the Jews as an anti-race befouled by destructive physical characteristics. The utopia toward which these Germans strove would be unobtainable if the Jews remained. When the geographical removal of the Jews proved unfeasible, they resorted to the most radical of solutions: a Final Solution.

<http://www.yadvashem.org.il/holocaust/faq/gapfaq.html#12>

Nazis は自らをmaster race(支配者民族) とみなし、他民族を支配しようとしたのである。「彼らの信ずる寄りよい世界」にはユダヤの人々は相容れない存在として考えられ、文字通り消し去るべき対象となってしまったのである。

村瀬(1968:195)には Hitlerが次のような非公開の演説を行っていることを取り上げている。

もしも一九三三年に、ドイツ民族的世界観が勝利しておらず、ドイツ国の統一やナチスの国防軍の創世がなされていなかったとしたら、ドイツ国民は、アジアからヨーロッパへと襲いかかってくる巨人の犠牲となっていたことであろう。この巨人の背後には国際ユダヤ人がいて、巨人をドイツへと襲いかからせたのであり、彼らユダヤ人は、これを機会に自分らの千年王国を建てようと考えていたのである。このユダヤ人とロ

シヤ人とに対する闘争に勝利する過程で、ナチス党のみが生き残ってドイツ民族全部を結集することであろう。

ドイツでは1938年にホロコーストの幕開けとも言えるユダヤ人迫害事件『水晶の夜』が起こっている(土井:1991:63)。そして1941年、Soviet Unionからユダヤ人に対する組織的な大量殺戮が始まり、やがてポーランドやその他のヨーロッパ諸国へと広がっていく。以下の表を参照すればいかに多くの尊い命が犠牲となったのかが分かる。

#### FAQs about the Holocaust

Basic information about the history of the Holocaust in a question and answer format.

<http://www.yadvashem.org.il/holocaust/faq/gapfaqs.html>

#### The Holocaust:

A Learning Site for Students

<http://www.ushmm.org/outreach/nrule.htm>

#### United States Holocaust Memorial Museum

<http://www.ushmm.org>

#### 2.1.2.2 YAD VASHEM

ヤド・ヴァシエムとは、通常「ホロコースト記念館」と訳される(立山1991:38)。これはナチスの犠牲となったユダヤ人の一人一人について、氏名や家族構成、どのような経路でどこの収容所へ送られ、どのような最期を遂げたのかを詳しく記録している。現在でもこのような作業は継続されている。夏、バスなどの中でふと半袖から覗いたお年寄りの腕に共生収容所で彫られたと思われる数字の入れ墨を目にする時、ホロコーストが決して過去の出来事でないことを思い知らされると言う(*Ibid*)。Holocaustの犠牲者を記録し続けることに関して以下のような資料が見つかった。

The Pages of Testimony (symbolic tombstones) are intended to serve as a lasting memorial for the victims of the Holocaust. The details, beyond names and place, provide an identity for the victim that would otherwise be lost in the coming generations.

For over 40 years, beginning in 1955, Yad Vashem has been actively collecting Pages of Testimony in Israel and around the world. On Yom Hashoah

#### 資料

Country	Pre-war Jewish Population	Minimum Loss	Maximum Loss
Austria	185,000	50,000	50,000
Belgium	65,700	28,900	28,900
Bohemia and Moravia	118,310	78,150	78,150
Bulgaria	50,000	0	0
Denmark	7,800	60	60
Estonia	4,500	1,500	2,000
Finland	2,000	7	7
France	350,000	77,320	77,320
Germany	566,000	134,500	141,500
Greece	77,380	60,000	67,000
Hungary	825,000	550,000	569,000
Italy	44,500	7,680	7,680
Latvia	91,500	70,000	71,500
Lithuania	168,000	140,000	143,000
Luxembourg	3,500	1,950	1,950
Netherlands	140,000	100,000	100,000
Norway	1,700	762	762
Poland	3,300,000	2,900,000	3,000,000
Romania	609,000	271,000	287,000
Slovakia	88,950	68,000	71,000
Soviet Union	3,020,000	1,000,000	1,100,000
Yugoslavia	78,000	56,200	63,300
Total	9,796,840	5,596,029	5,860,129
Rounded	9,797,000	5,596,000	5,860,000

this year, Yad Vashem launched an international campaign to collect the names previously unrecorded, in order to rescue from oblivion the memory of the Jews who did not survive the Holocaust.

<http://www.yadvashem.org.il/pot/>

尚、関連する資料としては以下のSiteが役立つ。

Frequently Asked Questions.

<http://www.yadvashem.org.il/pot/faq.html>

Click here to submit a Page of Testimony

<http://www.yadvashem.org.il/pot/form.en.html>

### 2.1.2.3 Anne Frank

Anne Frankは1929年6月12日、Otto FrankとEdith Frankの間に次女として生まれたドイツ系ユダヤ人である。父Ottoは第一次世界大戦時にドイツ軍将校として参加している。

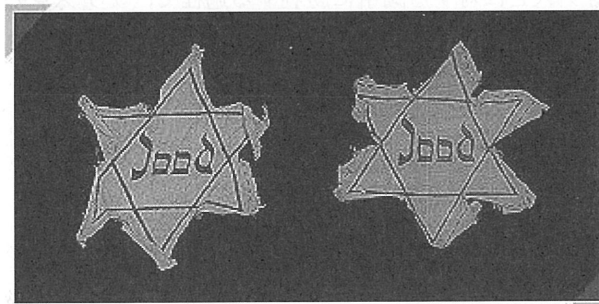


Otto Frank in his German army uniform (right)

1930年代初期、周囲の状況は劇的に変わり、家族の生活に影響を与える。Ottoは1933年の夏にFrankfurtを離れ、Amsterdamに移り住むこととなる。彼はそこでDutch Opekta Company. という会社 (pectin水溶性ペクチン酸の販売会社) を設立する。そして、その後、妻Edithと長女Margot、次女のAnneを呼び寄せたのである。

1940年五月、ドイツ軍がオランダに侵攻する。1942年の6月、6歳以上のユダヤ人に対し、ダビデの黄色い星を意味する印を衣服につけることが強要される。いよいよ彼らの生活が本格的に脅かされようとしていた。

1942年ドイツ軍によるユダヤ人迫害が日常茶飯事となり、多くのユダヤ人が強制収容所へと送られていく。



Frank家族は生存する為に、隠れ場所を探さなければならなかった。彼らはAmsterdamにあるOttoの事務所に隠れることとなる。



The Frank family on the Merwedeplein, May 1940 (left)

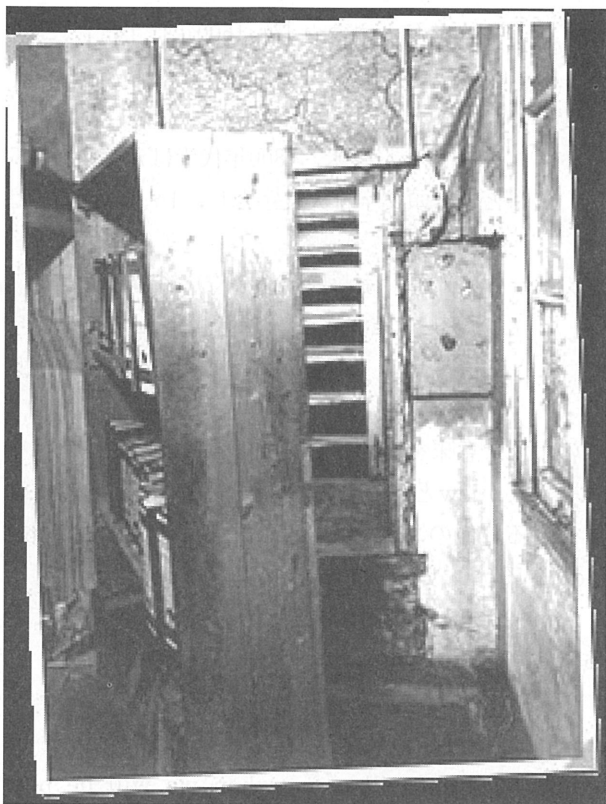
263 Prinsengracht - the hiding place

- an annex of rooms above Otto Frank's office at 263 Prinsengracht in Amsterdam. (right)

1944年8月4日午前10時、Frank Familyが恐れていた時がついにやって来る。一人のNazis (Karl Joseph Silberbauer) とオランダ人の協力員がAnnexへやって来たのである。誰かが匿名の電話をした為に、彼らの隠れ家がNazisに分かってしまったのであった。

1944年10月AnneとMargotはAuschwitzからドイツのthe Bergen-Belsen concentration campへと移動させられる。ここBergen-Belsenでは、食料不足、寒さ、薬の不足、不衛生という劣悪な環境の中で何千もの人々が死んでいった。AnneとMargotもこのような環境で生き延びることはできなかった。二人はチフスにかかり、Anneは15歳で、Margotは19歳でこの世を去った。1945年、二月 (Anne) と三月 (Margot) のことであった。

Annexの住民の中で生き延びたのはOtto Frankの



みであった。彼は家族との思いでの深いAmsterdamで家族なき後生きていくことが難しかった。彼と彼の二度目の妻、Elfried GeiringerはスイスのBeselに1953年移り住む。Otto Frankはその後91歳でこの世を去る。1980年8月19日のことである。

#### On the Deportations

“Our many Jewish friends and acquaintances are being taken away in droves. The Gestapo is treating them very roughly and transporting them in cattle cars to Westerbork, the big camp in Drenthe to which they’re sending all the Jews... If it’s that bad in Holland, what must it be like in those faraway and uncivilized places where the Germans are sending them? We assume that most of them are being murdered. The English radio says they’re being gassed.” -- October 9, 1942

#### Selected Entries from Anne’s Diary

<http://www.annefrank.com/anne/diary/entry1.html>

<http://www.jbs-anne-frank.de/indexen.htm>

Anne’s と彼女の日記に関するSiteは以下を参照すると良い。

<http://www.jbs-anne-frank.de/story>

<http://www.jbs-anne-frank.de/frame2.htm>

#### 2.1.2.4 Mr. Otto Frank

Otto Frank氏はAnne Frankの父である。彼は娘Anneの日記に感銘を受け様々な友人や家族に読んでもらう為、Anneの手書き原稿をタイプし、配ったのである。そしてさらにはNazisのfascismと非人道的でユダヤの人々から人間性を奪いさった過程を世の人々に知ってもらうために出版することを決意したのであった。しかしながら簡単に出版社を見つけることができず、Her Paroolという新聞社がA Story about Anne’s Diaryを報じることによって出版社が見つかるきっかけとなった。出版社はドイツのContact Publishersである。

当初の版(1947年)は、Anneの性に関する既述や母や他のAnnexに住む住民への否定的な感情を省かれ出版されている。この理由はContact Publishersの判断と、父Ottoの意向があったからである。

Anne Frank’s Life and Times: The Diary

<http://www.annefrank.com/anne/diary/publ.html>

1986年にはthe Dutch Department of War Documentation (RIOD)がThe Critical Edition of Anne’s diaryを出版した。この版には前述した省かれた部分が含まれている。

Auschwitz Birkenau

[http://www.yadvashem.org.il/Auschwitz\\_Album/](http://www.yadvashem.org.il/Auschwitz_Album/)

#### 2.1.2.5 Ghetto

N-tos a part of a city in which a group of people live who are poor and/or are not acceptable as a full citizens

[LDAE s.v. ghetto]  
ghetto noun [C]

a very poor area of a city in which a lot of people, often of the same race or religion, live closely together and apart from the rest of the city, or a part of society or group that is in some way set apart from the others

As a child she lived in one of New York’s poorest ghettos.

To the west of the city people are living in almost ghetto conditions.

Brought up in what he describes as ‘a middle class ghetto’ he imagined that all people were as

privileged as he was.

(slang) A ghetto blaster ((Am also) boom box) is a large long tape recorder that can be carried around by hand.

[CIDE s.v. ghetto]

<http://www.cup.cam.ac.uk/elt/dictionary/>

ユダヤ人はNazisによる迫害の際、大澤(1999)はなぜユダヤ人が隔離居住を強いられたのかをフランクフルトのghetto建設から解放までを検証することによって解説している。1460年7月よりフランクフルト市参事会の建設委員会のもとに旧市城壁外側の防濠地でghettoの建設が始まっている(Ibid:59)。メイン川の北でカイザードーム(大聖堂)の東にある旧ユダヤ人墓地に隣接したところにゲッター博物館がある。この博物館はMuseum Judengasseと呼ばれ、市の交通サービスセンター建設工事現場で発掘されている。ここはかつてのユダヤ人ゲッターの遺跡を博物館にしたものでヨーロッパで唯一のものである(Ibid:64)。1987年2月、ゲッターの遺跡が明るみに出て、公に報道されるとフランクフルトではこの発掘遺跡の保存と工事の中止をめぐり、大論争となる。第二次世界大戦でユダヤ人に対し大きな負い目を感じているドイツ国民感情がはっきりと表明され、発掘遺跡を警告の記念碑として保存すべきことが一致して主張された。この結果生まれたのがゲッター博物館である(Ibid:63-68)。

<http://www.amfriendsgfh.org/>

Israel

#### 2.1.2.6 Jews

A Jew is a person who believes in and practices the religion of Judaism. Jews are considered to be the descendants of the ancient Hebrew people. [CCED s.v. Jew]

Jewについて[CCED]の既述に加え[RHD]の解説を加えるとする。[RHD]によれば、Jewとはユダヤ人のことを指すが、「ユダヤ人の中でJewと呼ばれことを好まない人が少なくない」と解説している。ちなみにdescendantsとは末裔の意であり、Hebrewとは「ヘブライ人、ヘブル人【古代パレスチナのセム系民族(の子孫)】を、特に古代イスラエル人を；ユダヤ人、またはヘブライ語を指す(『リーダーズ英和』)。一方『英語スラング辞典』には以下のような記述が出てくる。

- jew
1. 人をだますやつ.[英 1600年代半ば]
  2. うるさく値切ってもうける.
  3. (人を)だます, (人から)だまし取る  
[両義とも英米. 1800年代半ばから現在 ]  
ときに頭文字を大文字とし, 1~3の意味では常に軽蔑的.
  4. (人種, 宗教に関係なく)裕福な人.  
[ジェマイカ英語]

『英語スラング辞典 s.v. jew』

このような意味を込められて呼ばれるとすれば、ユダヤの人々がjewと呼ばれるのを好まざるのも容易に理解できる。他のユダヤ人を表現するにはJewish peopleがある。

Anne Frankの日記を次のように英訳し記述しているSiteがある。

April 9, 1944 - "One day this terrible war will be over. The time will come when we will be people again and not just Jews! We can never be just Dutch, or just English, or whatever, we will always be Jews as well. But then, we'll want to be.

前述した「Anneの日記」のように、Internet上でユダヤ人の歴史やホロコーストに関するおびただしい量の資料が英語で記述されているが、ユダヤ人を指す語としてはjew(s)もJewish peopleも用いられている。他の差別的な語としてjewboy /jew boy(いずれも蔑称)「(年齢, 身分を問わずユダヤ人男性)がある『現代スラング英和辞典』。この言葉一つを取り上げても、いかにユダヤの人々が差別的な呼ばれ方をされてきたのかが理解できる。

#### 2.1.2.7 Nazis

"a member of the National Socialist German Worker's Party of Germany(国家社会主義ドイツ労働社党の党员)を意味する。ドイツ語のNazi(onal-sozialist)=National socialistから由来する。1932年の6月1日にパーペンが首相となり、同月7月の選挙では、ナチ(ナチス)は第一党となる(安部1998:239)。1933年3月23日にヒトラーは、国会に「全権委任法」を提出した。これは政府に立法権を委ねる法で、中央党の協力を得てこの法が成立すると、ヒトラーは憲法にとらわれず、国会をも無視して支配できることにな

ったのである (Ibid:239-240)。ナチスは1919年に結成され大恐慌の最中、大ドイツ樹立・ベルサイユ条約破棄・ユダヤ人排斥などを唱えて指示を拡大。33年政権を掌握、統制経済・再軍備、ユダヤ人や共産主義者への虐待などヨーロッパ制服を目指して軍備拡張を行い、第二次世界大戦を起こしたが破れ、45年に崩壊した (『大辞林』)

ナチスをめぐる政治的な事象は現代社会にも深い影響を与えている。オーストリアの極右政党、自由党のハイダー党首は2月28日、ウィーンで記者会見し、党首辞任を表明した。自身のナチス擁護発言や同党の連立政権参加でEUを中心に高まるオーストリア政府への国際的批判をかかわすのがねらいと見られた (『山陰中央新報』3月1日)。ハイダーは1986年に党首に就任。89年にケルンテン州知事に就任したが、ナチス擁護発言で91年に辞任。その後も外国人排斥発言を繰り返している。

### 3. 提案 発展学習

#### 3.1 授業展開例

2.で授業に関する教材研究の結果をこれまで記述してきたが、集めた資料をどのように授業実践と結びつけるのかについて説明することとする。まず授業時数を以下のように設定した。

総時間数 15時間

- |                          |     |
|--------------------------|-----|
| (1) Internetによる情報収集      | 2時間 |
| (2) “The Sound Music”視聴1 | 2時間 |
| (3) 教科書を用いた学習            | 5時間 |
| (4) Holocaust学習          | 2時間 |
| (5) “The Sound Music”視聴2 | 2時間 |
| (6) まとめ                  | 2時間 |

※(1)(2)をa)事前の学習

(3)をb)教科書の学習

(4)(5)をc)事後の学習とする。

関連資料を提供する場合、その時期はa)事前の学習において、b)教科書学習時に同時に配るc)教科書の学習を終えた後、の3つの場合が想定できる。今回はa)事前の学習ではWWWと映画The Sound Musicを中心に、b)では2.で既述してきた語句の説明と社会的背景を中心に、教科書の学習を構成した。そしてその後再び映画を視聴し、まとめではアンネの日記と自分達の生きる2000年との対比を通して表現学習を試みた。

a) 事前の学習

- |                          |     |
|--------------------------|-----|
| (1) Internetによる情報収集      | 2時間 |
| (2) “The Sound Music”視聴1 | 2時間 |

広島のアホココースト記念館WWW Siteを中心に、事前の情報収集を行う。本校のコンピュータールームにある端末からInternetを利用することができる (40台)。各端末のホームページに設定してあるYahoo Kids で「ユダヤ人」を検索し、様々なページで情報をそれぞれが見ていく。前述のページの中に「悲史の歴史」というコーナーがある。幼子の小さな靴が真っ黒く焦げた様 (ガス室に消えた子どものくつ (A Shoe of a Child who perished in the Gas Chamber)), はユダヤ人の受けた苦難を象徴している。自分の知らなかった内容に、ショックを受ける生徒がほとんどである。またこれまで自分たちの想像をしていた以上の凄惨な内容を知ることとなる。前述したページは内容や関連リンクが大変充実している。この紀要で紹介するページを知り得たのもこのSiteのおかげである。

ホロコースト記念館

<http://www.urban.ne.jp/home/hecjpn/>

Yahoo Japan Kids

<http://kids.yahoo.co.jp/>

WWWで事前学習の前半を終えた後、NHK/BS2で放映された映画“The Sound of Music”を視聴する。この映画は教科書のもととなった作品で長編作品である。映画を視聴する狙いは生徒の学習への意欲付けが主なものである。もちろん付随して長時間英語の聞き取りにもなることやこれまで知らなかった単語・連語、文型を知ることにはなるが、そこにはあまり多くの期待をしない。厳格なTrapp 大佐と子供たちを持ち前の行動力と明るさで引き込んでいくMariaの魅力や、時折出てくるAustriaの緊迫した状況、男爵婦人の存在などが映像と音声で理解できる。ミュージカル風に構成されており、よく耳にする音楽 (ドレミの歌など) もたくさん出てくるので生徒にも好評である。

b)教科書の学習

- |                 |     |
|-----------------|-----|
| (3) 教科書を用いた学習   | 5時間 |
| (4) Holocaust学習 | 2時間 |

教科書の扱いは、新出単語の紹介/CDによる音声の提示/音読練習/単語・連語調べ/内容把握等を行う。関連がある場面では内容を深めるプリントを配布し社会的背景を分かりやすくする。映画の前半が割に明るく迫りくる困難が分かりづらくなっているため、欧州

をはじめとして、どんな事象が展開しているのかを補足説明する必要がある。600万人ものユダヤ人々がNazisの政策によって虐殺されたという事実はぜひとも生徒に伝えたい歴史的事実である。

Holocaustをいかに伝えるかは重要なポイントである。前述のホロコースト記念館には日本語で書かれた解説がありとても役立った。中学二年生の学習内容にあった英語資料をと検索を進めたが、内容が難しいものが多く、現在も調査中である。

写真や動画の資料（ビデオ教材）も、もちろん世に多く出ている。『夜と霧』の巻末には見るに絶えない壮絶な資料が数多く形成されている。映像資料に関しては授業で使用する際にどのような影響力があるのかしっかりと検討をする必要がある。今回は残酷な写真は避けた。また生徒たちと同世代にAnnexでの生活をするのを余儀なくされたAnneの資料を活用した。Anneの生い立ちやNazisに関する資料は教育目的に作成されており使いやすい。

#### c) 事後の学習

##### (5) “The Sound Music”視聴2

##### (6) まとめ

教科書を終え、また厳選した資料をもとにHolocaust学習を展開した後、再び“The Sound Music”を視聴する。その後「まとめ」学習へと展開していく。まとめ学習ではこれまで学習した様々なことからの確認と、この学習で何を自分が感じたのかを英語で表現していく活動の場とする。生徒の持参している英和・和英辞典には語彙の限界がある。教室内に教師が準備できる資料や辞書を置いておくことで、表現活動を支援していく。表現されたものはスクリーンで画像化したり、コンピューターを使用することでInternet上に置いておくことができよう。これらの素材をもとに海外の生徒たちと意見交換の場やどのようにこれらの事象が教えられ、どのような受け止め方をされているのかについてさらに深く考えることができればと思っている。

## 4. おわりに

「1. はじめに」で英語の授業を展開していく場合、「教科書をどのように扱うのか」について、議論の対象とされることを述べた。「教科書を教える」のではなく「教科書で（英語を）教える」という表現を以下のように解釈してはどうであろうか。

「教科書を教える」

教科書 話題

言語材料 新出単語・連語・文型

「教科書で（英語を）教える」

- (1) 教科書の話題をもとに関連のある内容を取り上げる。

例 P12. “Maria Talks about Her Life”

関連する内容 The Trapp Family

Holocaust

Jewish People

Nazis

Anne

Anne's Diary

- (2) 教科書と同時に英語・日本語の資料を提示し生徒の意欲・関心を深める。

※当然新たな教材となり得る。内容によっては語彙のレベルのみでなく社会的な背景、歴史的な内容も関係してくる。

- (3) 表現活動の場を設定

知り得た情報、学習を深めたことをもとに自分が何を感じたのか表現する。

- (4) 共有の場の設定

お互いが感じたことを深め合えるような場を設定する。

授業内 プリントで配布

Internet ホームページ化

e-mailによる意見交換

Netnewsに投稿

※今回の場合扱っている内容がとても重大な内容だけにエチケット、使用語彙・表現内容をよくよく考えて発信する必要がある。また逆に、第二次世界大戦を日本はどのようにとらえているのか質問されることもあるであろう。

このような考え方をして教科書の話題を広げたり、関連ある内容を抱き込んでいくことは、生徒の学習意欲を高めていくことになるのではないだろうか。また教材研究をする上で、英語教師も英語を手段として用い、対象とする内容について深く考える場となる。



注

Cambridge International Dictionary of English, Cambridge Dictionary of American English, Cambridge International Dictionary of Phrasal Verbs or Cambridge International Dictionary of Idioms.  
<http://www.cup.cam.ac.uk/elt/dictionary/>  
[http://www.cup.cam.ac.uk/elt/dictionary/default.asp?String=ghetto\\*1%2B0&ACT=SELECT](http://www.cup.cam.ac.uk/elt/dictionary/default.asp?String=ghetto*1%2B0&ACT=SELECT)  
<http://www.trappfamily.com/history.html>

以上の3つのURLで3つの辞書を使用することができる。

<http://www.trappfamily.com/>

Trapp Family の歴史が詳しく解説されている。

ホロコースト記念館

今回の学習で様々な情報を得ることができた。またページ内にあるリンクも活用できる。英語による広島県知事の挨拶もあり、非常に貴重な情報源。

ホロコースト記念館へのアクセスは以下の通り。

- (1) 住所：〒720広島県福山市御幸町中津原866
- (2) Tel&Fax;:0849-55-8001
- (3) E-Mail:hecjpn@urban.ne.jp
- (4) WWW  
<http://www.urban.ne.jp/home/hecjpn/>

Anne Frank Online

<http://www.annefrank.com/>

参考文献

- Sunshine English Course 2 Teacher's Manual, 開隆堂, 東京。
- 阿部謹也『物語ドイツの歴史』中央新書。
- 大澤武雄 (1999), 『ユダヤ人ゲッター』講談社現代新書。
- 立山 (1991), 『イスラエルとパレスチナ』中央新書。
- 土井敏邦 (1991), 『アメリカのユダヤ人』岩崎新書。
- 村瀬興雄 (1968), 『ナチズム』中央新書。

山田政美 訳編『英語スラング辞典』, 研究者出版, 1989. (Richard A. Spears, *Slang and Euphemism*. Jonathan David Publishers, 1981.)  
 『英語スラング辞典』]

R. Cゴリス, 大久保雪見 訳編, 『現代スラング英和辞典』, 秀分インターナショナル (Harold Wentworth & Stuart Berg Flexner, *Dictionary of American Slang*. Thomas Y. Crowell Company. 1975.) [『現代スラング英和辞典』]  
*Colins Coubuild English Dicionary*. London. Herper Collins Publishers. 1995. [CCED]  
 『リーダーズ英和辞典』第二版。研究社。1999。  
 [『リーダーズ英和』]  
 『ランダムハウス英和大辞典』第二版, 小学館, 1994。  
 [『ランダムハウス英和大辞典』]  
 『大辞林』, 三省堂。(『大辞林』)  
 『山陰中央新報』, 3月1日, 第9面, 「海外」(『山陰中央新報』3月1日)。

Internet上の資料 (WWW)

ホロコースト関連団体ホームページ  
 アンネ・フランク資料館 (西宮)  
 ヤド・ヴァシエム (イスラエル)  
 YAD VASHEM  
 米国国立ホロコースト記念博物館 (米国)  
 United States Holocaust Memorial Museum  
 ホロコースト生還者の映像による歴史財団 (米国)  
 Survivors of the Shoah Visual History Foundation  
 サイモン・ヴィーゼンタール・センター (米国)  
 Simon Wiesenthal Center  
 アウシュビッツ博物館  
 Auschwitz Museum: Events, Issues, and Communication  
 Zum Beispiel Dachau(ドイツ)  
 アンネ・フランク・ハウス (オランダ)  
 Anne Frank House  
 ホロコーストの写真集  
 Holocaust Pictures Exhibition  
 ヤヌス・コルチャックの遺産協会 (スウェーデン)  
 The Janusz Korczak Living Heritage Association  
 ホロコースト博物館 (ベルギー)  
 The Shoah Museum in Belgium  
 (わたなべ むつひろ・英語科)  
 E-mailアドレス: watamu@edu.shimane-u.ac.jp  
<http://fuzokue2.fc.shimane-u.ac.jp/index.htm>